

3. 内神社

内神社は、木津川南方に広がる田園地帯に囲まれる内里集落の西端に位置している。敷地内には本殿のほか、旧社殿や複数の摂社、社務所など、多数の建物が存在する。本殿は南向きで、神社の入口はその延長線上の南側と、社号標などが建てられている東側の計2箇所に設けられている。祭礼日については、例祭が10月9日となっている。

『村誌』によると、内神社の旧社地は集落東南部の字古宮にあり、天正年間に現在の場所に遷ってきたとされる。また、近世において当神社は、春日宗像神社と称し、明治維新の際に「旧称に復」したということが『村誌』に記されている。いつ頃から春日宗像神社と称していたのかは、史料などからは読み取れないが、万延元年(1860)と延享4年(1747)の銘をもつ石燈籠(9・12)に「春日大明神」という銘文がみられることから、遅くとも18世紀半ば頃にはそのように称していたことがわかる。

神社内には31基の石燈籠があり、対となるのはそのうち18基である。形態別にみると、円柱形10基、方柱形7基、神前形13基、変形撥形1基となり、時期ごとでは近世のものが12基、明治期のものは8基、大正期以降のものが6基で、それ以外の5基は年号不明である。さらに石燈籠以外の石造物として、鳥居が3基、社号標を含めた石碑が3基、狛犬2対、手水鉢2基が存在する。

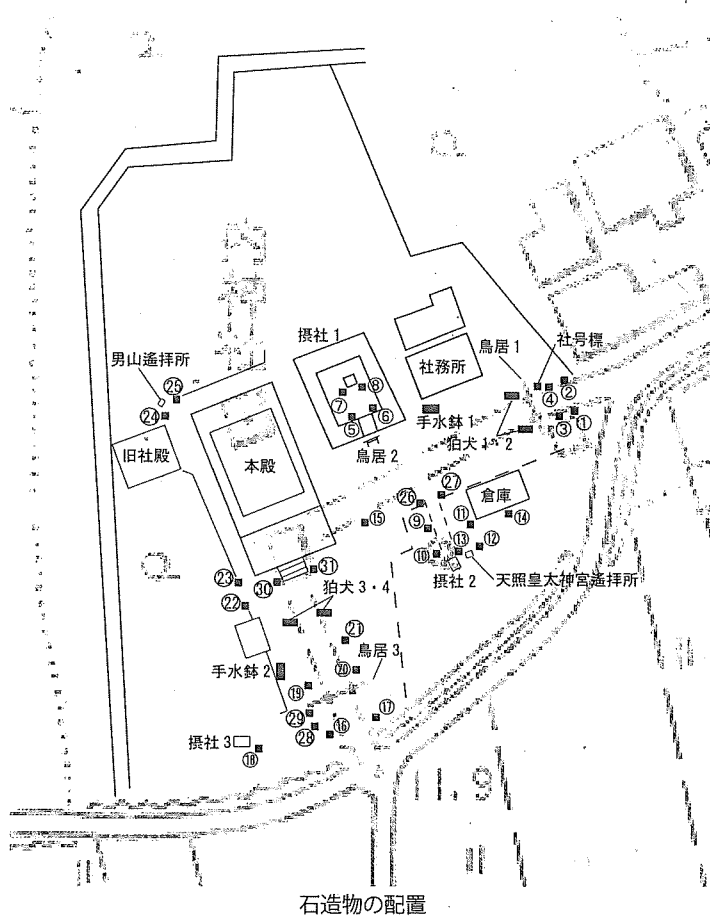
東側入口に立てられている鳥居1は、寛保3年(1743)の建立であり、南側入口の明治10年(1877)の鳥居よりも古く、また旧社殿内の墨書に同じ年号があることから、東側がこの神社の本来の入口であったと考えられる。その手前に置かれている石燈籠(4)は、元禄7年(1694)の銘を持つ六角火袋の円柱形で、中台と基台に蓮華座などの装飾を有する。その対となるように置かれている石燈籠(3)も、細部は異なるものの同様の特徴を有することから、年号は確認できないが近い時期であると推測できる。

さらに、入口脇にある倉庫の裏手に、破損した竿部(15)が1つ放置されており、その銘文を見ると明暦2年(1656)とあることから、より古い時期に当社内に石燈籠が配置されていた可能性が高いと考えられる。

摂社1の前面にある石燈籠は嘉永7年(1854)の神前形(5・6)と、文化13年(1816)の方柱形石燈籠(7・8)で、さらに鳥居2に文政11年(1828)の銘文がみられることから、これらはいずれも19世紀以降に置かれたものであることがわかる。

また、鳥居1の年号に近い時期のものとしては、摂社2と天照皇大神宮遷拝所石碑につづく参道に置かれている延享4年(1747)の方柱形石燈籠(12)があり、その参道付近には他に万延元年(1860)の神前形(9)、安永2年(1773)の円柱形石燈籠(10)などが置かれている。

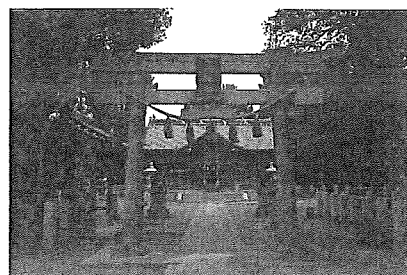
本殿の裏手にある男山遷拝所石碑の脇に置かれている石燈籠(24・25)は、明治9年(1876)の銘文の方柱形石燈籠で、石碑自体には大正5年(1916)の銘文が見られる。その他の石造物(石碑や手水鉢、鳥居)は、銘文からいずれも明治期以降に置かれたものであることがわかる。(藤原光平)



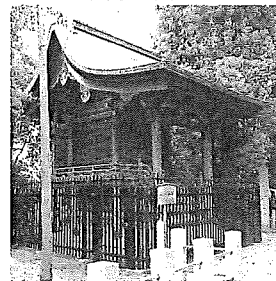
石造物の配置



境内の景観 1



境内の景観 2

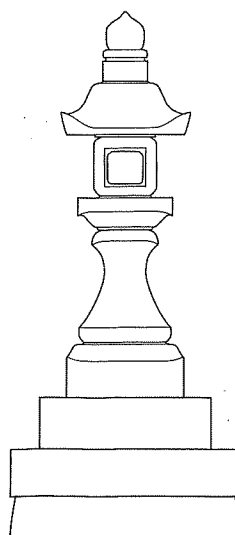


旧社殿

〔正面（東）〕式内内神社
〔左側面〕正五位勲六等岡部護謹書
〔背面〕大正七年九月吉辰奉建 別所町中



社号標



①(2)



〔基壇背面〕
明治廿一年十月 長村
IKUYOMON
KAORU TOKUZIRO
KANAYE IKUBUN
〔正面（東）〕献燈

図6 内神社（1）

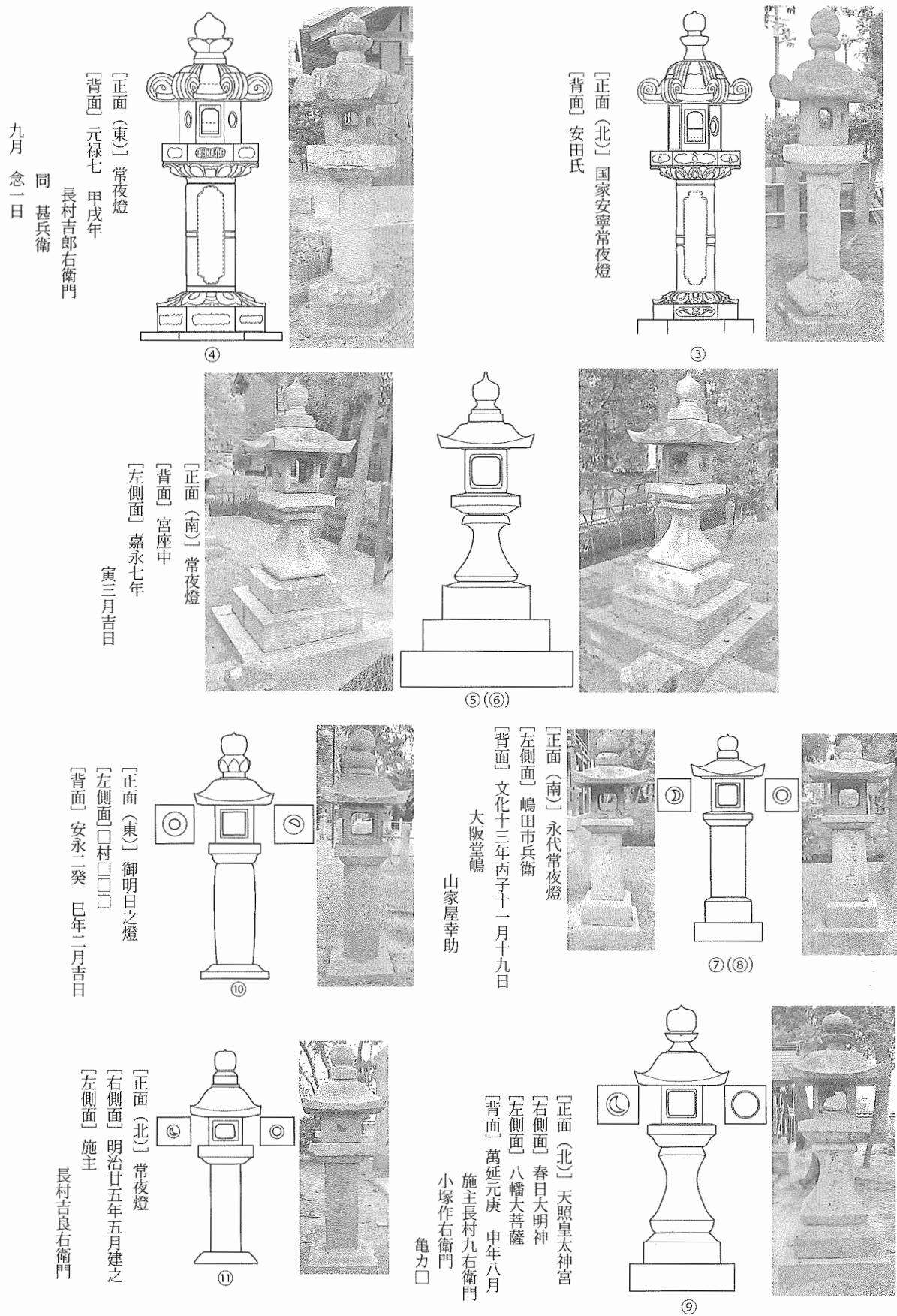
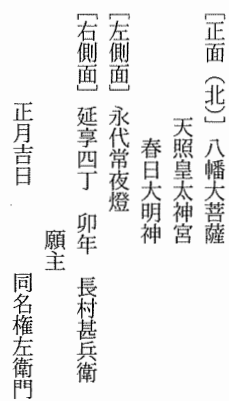
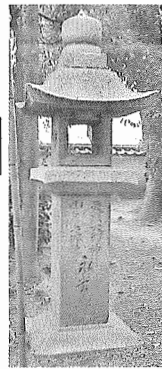
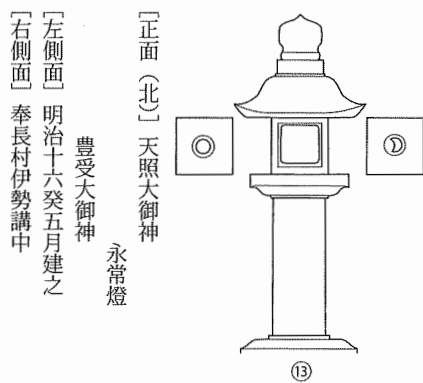


図7 内神社（2）



〔背面〕 明曆二〇

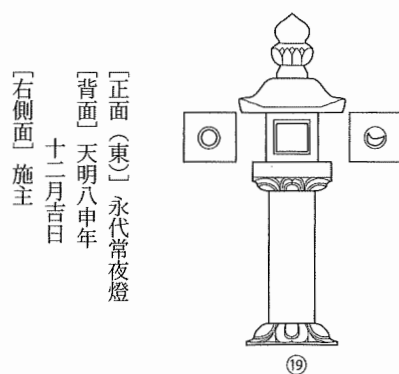
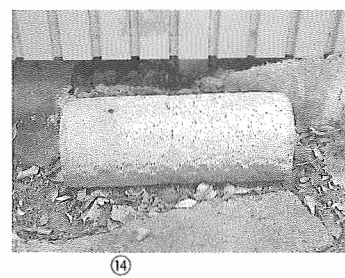


図8 内神社（3）

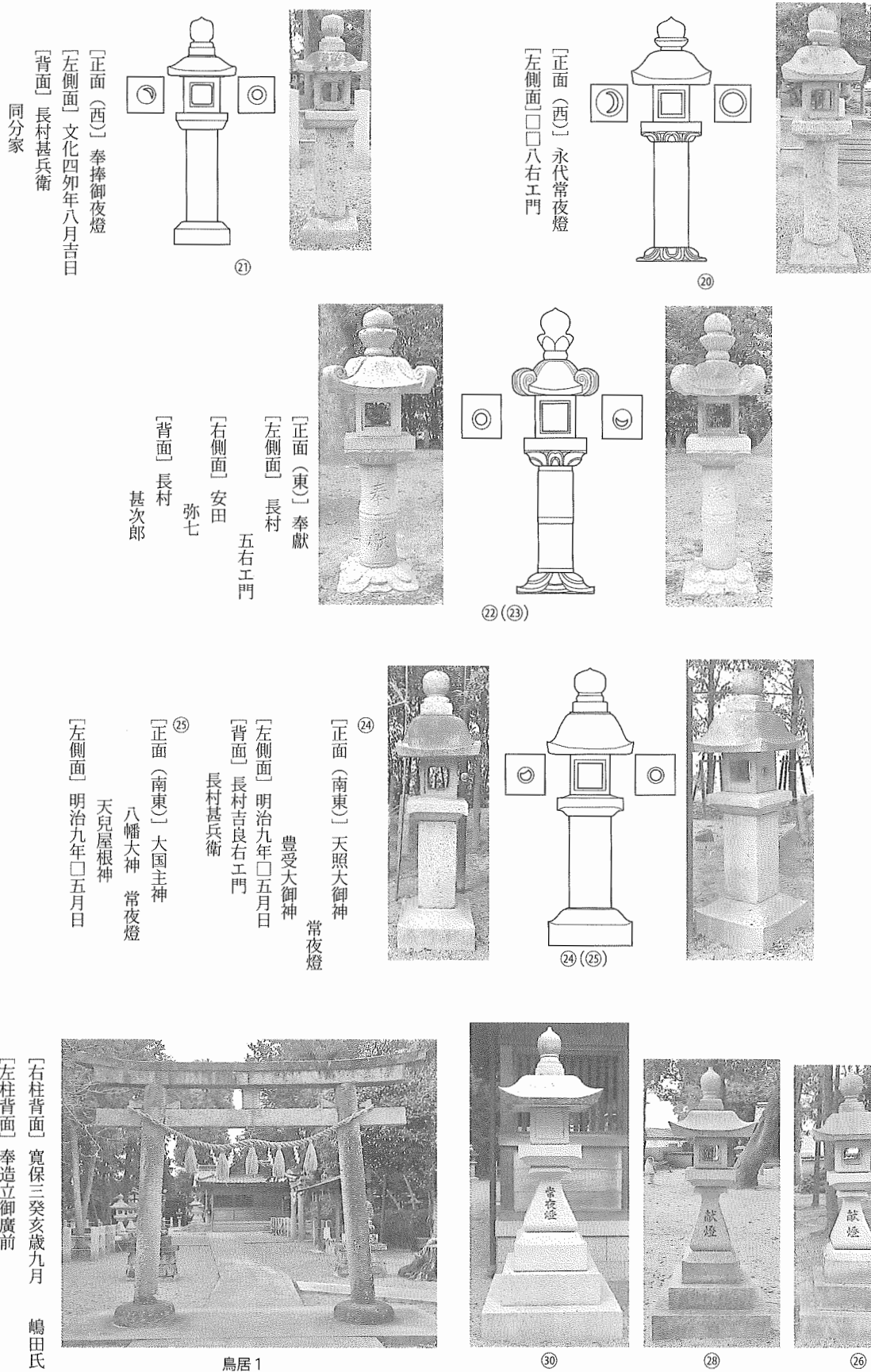


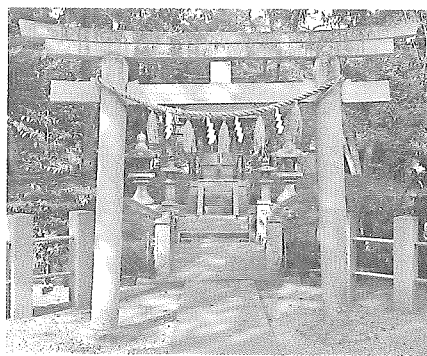
図9 内神社 (4)

〔右柱正面(南)〕奉造立華表
 〔左柱背面〕明治十丁丑年九月吉日 長村氏



鳥居 3

〔右柱正面(南)〕奉納御寶前
 〔背面〕文政十一稔戊 子九月吉辰
 〔左柱背面(北)〕當所
 欽仰 藤沢徳



鳥居 2

〔基壇正面(南)〕献
 〔基壇背面〕寄附者
 藤澤本家
 全 分家
 〔基壇正面(南)〕奉
 〔基壇背面〕寄附者
 藤澤本家
 全 分家



狛犬 3・4



狛犬 1・2

〔基壇正面(北)〕发起人
 〔以下不明〕狛犬1と同力
 〔背面〕西村庄平
 長村□三
 長村五右工門
 (以下十二名不詳)

狛犬 2
 〔基壇正面(北)〕发起人
 金村岩吉
 藤沢芳榮
 北村松助
 安田鼎
 嶋田小兵工
 芝田権吉
 嶋田甚工門
 長村治工門
 嶋田市兵工
 長村甚助
 古田治助
 高木七右工門
 長村□□□
 安田□
 金村安之助
 水谷保助

〔左側面〕外 二十七名
 安田新平
 金村安之助
 水谷保助
 安田□
 長村□□□
 高木七右工門
 古田治助
 藤沢芳榮
 北村松助
 安田鼎
 嶋田小兵工
 芝田権吉
 嶋田甚工門
 長村治工門
 嶋田市兵工
 長村甚助
 狛犬 1
 〔基壇正面(南)〕发起人
 金村岩吉
 補助
 九名
 明治廿六年
 巳十月
 石工人
 石常
 石久

〔正面(東)〕奉
 〔右側面〕明治十四年
 九月ヨリ
 長村甚兵衛
 同 分家



手水鉢 2



手水鉢 1

〔正面(南東)〕男山八幡宮遙拝所
 〔背面〕大正五年 里町中



男山遙拝所石碑

〔正面(北)〕天照皇大神宮遙拝所
 〔背面〕大正五年 里町中



遙拝所石碑



摂社 3



摂社 2

図 10 内神社 (5)